



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

家庭で防災対策を行うときは、両親など大人の立場で必要な対策と子どもの立場で必要な対策の両方を講じておく必要があります。
今回は子どものことを考えた防災対策をご紹介します。

①一緒に防災グッズを準備する

防災グッズを子どもと一緒に用意すると防災への意識付けをすることや、防災グッズがある場所を教えることが出来ます。

子どもがお留守番しているときに災害が起きたら、防災リュックを持ち出して逃げるように教えておきましょう。



②一緒に防災の行事に参加する

子どもと一緒に地域で行なっている防災訓練などの防災に関するイベントに参加して、実際に体験しておくことで災害時にどのような行動をした方が良いのかイメージしやすいですし、体験したことは記憶に残りやすいのでオススメです。

③外出中に災害が起きた時の対策を行う

子どもが外出中に災害が起きた際は周りの大人の指示に従って行動するように教えておきましょう。

また、あらかじめ避難所に指定されている施設などを被災した時の家族の集合場所として決めておきましょう。



④子どもの年齢に合わせた防災グッズの準備

子どもは成長するにつれ必要な物が変わってきますので、定期的に防災グッズの見直しを行い現在の子どもの成長に合わせた防災グッズを準備しましょう。

⑤非常食を定期的に食べる

子どもは好き嫌いするものです。

被災した後、子どもが非常食を食べられないといったことがないように日ごろから賞味期限が近い非常食を家族みんなで食べるようにし、好みに合った非常食を準備しておくようにしましょう。



詳しくは、総務課 防災係まで。